

# 事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和3年3月30日

立川市ドリーム学園

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		利用定員に対し、訓練室等のスペースは適切であると考えております。
	2	職員の配置数は適切であるか	○		指定の人員配置は満たしています。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか		○	建物が古く、施設のバリアフリー化は不十分です。また、療育の小グループ化をしたことにより、開設当初とは違う部屋の使い方がなっていますが、療育においては、子どもにとって分かりやすい環境を整えることを念頭において日々の療育を進めてまいります。情報伝達については、環境を整え、視覚支援を活用するなどし、子どもの発達特性に適応した伝達を心掛けております。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		建物は老朽化していますが、子どもたちに分かりやすく、取り組みやすい環境設定を行っております。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○		毎日、療育の前後にミーティングで情報共有し、目標設定や振り返りを行っております。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		毎年、保護者アンケートを実施し、療育等についてのご意見をいただき、その意見を職員間で共有しています。また、平成30年度から事業所における自己評価を行い、園の業務改善につなげています。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		事業所向け自己評価と保護者等向け自己評価について、その内容を立川市ホームページで公表しております。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○	第三者による外部評価は行っておりませんが、毎年、保護者アンケートを実施して、その意見を職員間で共有しており、園の業務改善につなげております。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		園内研修や子ども家庭部内での研修、外部の機関が実施する研修に参加しております。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		保護者との面談や連絡帳、書面での聞き取りを通じて保護者のニーズの把握に努めるとともに、臨床発達心理士、理学療法士などの専門職の助言を受け、個別支援計画（児童発達支援計画）を作成しております。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		アセスメントツールを使用するとともに、園独自の評価表も活用しています。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○		児童発達支援ガイドラインの趣旨にそって取り組んでおります。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		個別支援計画に基づき支援を行っております。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		朝夕のミーティングで取り組み内容の検討をしております。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		子どもの状態や変化に合わせ、また発達にニーズに応じた活動プログラムを実施しております。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○		子どもの発達のニーズを分析し、より効果的な支援ができるようにグループ分けしています。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		毎朝のミーティングで情報共有を行い、取り組み内容を確認しております。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		毎日、療育の終了後にミーティングを実施して、記録も残して職員間で情報共有を行っております。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		毎日、療育の記録を作成して、職員間で情報共有を行い、支援の検証・改善につなげております。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		日頃から保護者との情報共有する中で、年2回前期、後期の個別支援計画を作成しております。また、今年度は新型コロナウイルス感染症感染防止対策による休園及び分散登園を踏まえて個別支援計画の見直しを行いました。
	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		障害児相談支援事業所の要請に応じて参加しております。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		関係機関による連携会議に出席するなど、保育、発達、教育、保健等と連携して支援を行っております。

関係機関や保護者との連携	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	○	嘱託医の指示で実施しております。また、必要に応じて関係機関と連携を図っております。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	○	嘱託医の指示で実施しております。また、必要に応じて関係機関と連携を図っております。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○	保護者の意向を伺った上で、転園の時には申し送りを行っております。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○	保護者の意向を伺った上で、卒園の時には申し送りを行っております。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○	今年度は新型コロナウイルス感染拡大のため研修や交流等が中止となりましたが、メールを活用し、他機関との情報交換を実施しました。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	○	現状では年長児の希望者のみ、公立保育園にて交流を実施しております。今年度は新型コロナウイルス感染症感染拡大のため、11月と12月の2か月のみ実施しました。また、例年、近隣の公立保育園からの園児の来園により、園児全員を対象に交流を実施していますが、今年度は中止としました。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○	必要に応じて参加いたします。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○	連絡帳で、療育の様子や家庭での様子などを伝え合い、保護者の方との共通理解に努めました。
保護者への説明責任等	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○	連絡帳や電話相談を通して生活上の工夫や家庭での対応などを保護者と共に考えています。また、「家庭宿題」を通して発達課題に対して家庭でできることを提案をしています。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○	入園の契約時に説明を行っております。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○	個別支援計画の作成の時には、保護者との面談を行い、内容を説明し同意を得ております。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○	連絡帳や電話、面談により、保護者の悩み等を共有し、必要な助言と支援を行っております。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○	今年度は新型コロナウイルス感染症感染拡大により、例年の活動ができませんでしたが、保護者同士が互いの存在が感じられるよう、「保護者会つうしん」を発行しました。また、保護者同士が集える場として園外に会場を確保しました。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○	連絡帳でのやり取りや電話で迅速に対応することを心掛けております。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○	毎月の園だよりを発行して行事の予定をお知らせするとともに、行事ごとに案内文書を配布しております。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○	個人情報の取り扱いには十分に注意しております。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○	視覚支援や予告の方法、タイミングなど、理解に合わせた伝達の配慮をしています。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○	今年度は新型コロナウイルス感染症感染拡大のため、例年のような運動会などが実施できませんでした。夢まつりについてはドリーム学園ホームページや関係機関への案内状やチラシの配布などにより周知いたしました。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○	感染症及び緊急時対応についてはマニュアルを作成し、看護師が中心となり対応し、防犯については日頃から注意を払っております。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○	非常時災害対策として避難訓練を毎月実施している他、災害を想定した訓練も机上で実施しております。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○	入園時、また必要に応じて保護者と連絡をとり、確認を行っております。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○	入園時にアレルギーの状況を確認し、嘱託医の指示により対応しております。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○	日々のミーティングで確認するとともに、ヒヤリハット事例を記録し、職員間で共有しております。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○	研修の必要性を伝えるとともに、研修案内を掲示し、受講を促しております。また、研修参加者による園内研修を実施しております。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○	利用契約書及び個別支援計画に身体抑制について明記し、保護者に説明しております。

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。